

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第3類危険物)・正誤(4)]

---

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 自然発火性試験によって第3類の危険物に該当するか否かが判断される。 【 】
- (2) カリウムは流動パラフィンに沈めて貯蔵する。 【 】
- (3) 黄リンの火災の消火には、霧状の水による消火が適切である。 【 】
- (4) ナトリウムはアルカリ土類金属に属する。 【 】
- (5) アルキルリチウムは水と反応してブタンを生成する。 【 】
- (6) リチウムは常温で水と反応し、水素を発生する。 【 】
- (7) リチウムは空気と接触しても反応しない。 【 】
- (8) カルシウムは常温で電気伝導性がない。 【 】
- (9) ジエチル亜鉛は水より軽い。 【 】
- (10) ジエチル亜鉛は不燃性である。 【 】
- (11) 水素化ナトリウムはベンゼンに溶けない。 【 】
- (12) 水素化リチウムは乾燥空气中で安定である。 【 】
- (13) リン化カルシウムは暗赤色の結晶性粉末または灰色の塊状物である。 【 】
- (14) 炭化カルシウム自体は不燃性である。 【 】
- (15) トリクロロシランは刺激臭を有する。 【 】

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第3類危険物)・正誤(4)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 自然発火性試験によって第3類の危険物に該当するか否かが判断される。 【×】  
自然発火性試験及び水との反応性試験によって判断される。
- (2) カリウムは流動パラフィンに沈めて貯蔵する。 【○】  
灯油や流動パラフィンなどに貯蔵する。
- (3) 黄リンの火災の消火には、霧状の水による消火が適切である。 【○】  
黄リンは禁水性ではない。水系の消火剤による消火は適切。
- (4) ナトリウムはアルカリ土類金属に属する。 【×】  
アルカリ金属に属する。
- (5) アルキルリチウムは水と反応してブタンを生成する。 【○】  
水と反応してブタンを発生する。
- (6) リチウムは常温で水と反応し、水素を発生する。 【○】  
常温で水と反応し、水素を発生する。
- (7) リチウムは空気と接触しても反応しない。 【×】  
湿気がある空气中で反応する。
- (8) カルシウムは常温で電気伝導性がない。 【×】  
電気伝導性は高い。
- (9) ジエチル亜鉛は水より軽い。 【×】  
比重は1.2で水より重い。
- (10) ジエチル亜鉛は不燃性である。 【×】  
自然発火性。引火性。
- (11) 水素化ナトリウムはベンゼンに溶けない。 【○】  
ベンゼンに溶けない。
- (12) 水素化リチウムは乾燥空气中で安定である。 【○】  
乾燥空气中で安定である。
- (13) リン化カルシウムは暗赤色の結晶性粉末または灰色の塊状物である。 【○】  
暗赤色の結晶性粉末または灰色の塊状物である。
- (14) 炭化カルシウム自体は不燃性である。 【○】  
炭化カルシウム自体は不燃性である。
- (15) トリクロロシランは刺激臭を有する。 【○】  
刺激臭を有する。